

第1回 伊勢市特別支援教育推進会議 報告

開催日時 令和6年7月23日(火) 14:00~
場所 小俣総合支所大研修室

1 会議での報告内容 概要

- (1) 伊勢市特別支援教育推進事業について
- (2) 令和6年度伊勢市の特別支援教育に関する取り組みについて
 - ①伊勢市特別支援教育コーディネーター会議について
 - ②個別の教育支援計画について
 - ③巡回相談について
 - ④授業のユニバーサルデザイン化推進事業について
 - ⑤学習支援員研修及びオリエンテーションの紹介
 - ⑥研修会の開催について
 - ⑦副次的な籍の導入に向けて
- (3) 各課との連携について

2 委員からの意見まとめ

- ・巡回相談では、支援が必要な園児・児童生徒について、実際の様子を見て具体的な支援の仕方などを助言してもらっている。支援の仕方について悩んでいることなどを直接相談でき、非常に参考になる。
- ・保育園、幼稚園、認定こども園で取り組んでいるCLMと個別の指導計画は、支援が必要な子どもだけでなくまわりの子どもも育っていく等の成果を感じられる。
- ・CLMと個別の指導計画と個別の教育支援計画の運用の仕方については、現場の様子を見ながら検討していきたい。
- ・就学相談について5歳児の保護者に周知したことにより、小学校の就学について相談したい保護者にとって、どのような手順で相談すればよいか分かりやすくなった。
- ・特別な支援が必要な子どもだけでなくまわりの子どもたちも育つ、また、まわりの子どもの育ちが支援が必要な子どもの育ちにもつながるといような、クラス全体が育ち合えるような保育、教育を行っていきたい。インクルーシブな教育の場において、どのような関わり方をすればよいかなどを体得してほしい。
- ・保育園、幼稚園、認定こども園から小学校へ、小学校から中学校へと引継ぎが進められているが、子どもの変容等をフィードバックし、確認し合うことで、より良い支援や支援体制づくりができると思う。
- ・保護者から、学校の進学等に関しては先生に相談すればよいが、就職を考える時にどこに相談すればよいか困ったという声を聞くことがある。就労支援事業所等との連携など、切れ目ない支援ということで、就労までつなげていくというのは大切な視点である。
- ・切れ目ない支援を行っていく上で、パーソナルファイルの活用の仕方について検討していくといいのではないかな。

- ・CLMや発達検査の背景にある認知面や考え方等を学んでいくと、子どもの強みや弱みが見えてくる。そういう見方や考え方を学ぶ研修を取り入れていくと、子どもの行動や学習の捉えが行動評価から一定程度見えてくるようになるので、今後考えていけるとよい。
- ・副次的な籍については、長い目で子どもたちの意識変化を見ていきたい。
- ・医療的ケアが必要であっても他の子どもたちとひとっしょに生活できるという場合、医療的ケアの安全面を担保した上で、みんなとひとっしょの場でできること、分けた方がいいことを検討して行っていくと、日常生活の中での医療的ケアということが子どもたちに浸透していくと考える。

3 次回会議の予定と主な内容

日時 令和7年2月上旬（日時について今後調整）

主な内容 令和6年度特別支援教育の取組、今後の伊勢市の特別支援教育推進について